

市役所庁舎の建て替え場所の選定 年内で決定できず来年に先送りへ

大詰めを迎えている松戸市庁舎の建て替え地選定問題ですが、大方の予想を裏切り、R5 年以内に決定することができず、R6 年 1 月以降に先送りとなりました。

建て替え候補地は現在、①現地での建て替え、②相模台（松戸駅東口、新法務局となり）への移転、のいずれかかというところまで絞られてきています。市は、本年 5 月に臨時議会を開き、相模台に市庁舎を移転するための土地取得議案を議会に提出しました。財務省が所管する国有地約 8,500 m² を買い取り、同所に延べ床面積 37,000 m² の新庁舎を建設するという構想でした。しかし、庁舎が今より狭くなることや周辺の交通渋滞激化が予想されることなどを不安視する議会は、この時点での移転案に

は改題解説案が盛り込まれていないことを理由に否決しています。そして、およそ半年が経過した 12 月議会になんらかの建て替え議案が提出されるだろうという議会の予想に反して、市は提案を避け、建て替え地の選定は年明けに持ち越されました。



市庁舎建て替えは一刻を争う問題 市長に足りない緊張感と責任感！

市が 12 月議会に建て替え議案を提出できなかった背景には、国有地の買取について、議会を説得するだけの材料を揃えられなかったことがあります。国からの土地買い取りと、同地に市庁舎を移転させる案について、議会は①土地が狭すぎる、②崖に位置するため緊急避難所として活用できるか不確定、③周辺道路の交通渋滞の激化、などについて不安視してきました。これらの諸問題を解決する方策を練りきれなかったことが、12 月議会に議案を提出できなかった理由があると思われます。

一方、現地建て替えならば問題ないとする議員にたいして、市は「さまざまな状況を鑑みると、現地建て替えは困難」とする姿勢を強く示してきたこともあり、袋小路に陥っているとの推測もあります。いずれにせよ、耐震性に問題がある市庁舎を、いつまでも使用し続けるわけにはいきません。市長は、市民と職員の命を守るため、早急に建て替え案を示すべきです。



HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部